

東通村特産の夏秋イチゴ使用！「季節のヨーグルト」新発売お披露目会が行われました

6月6日、ミルク工房ボン・サーブ(むつ市)において、季節のヨーグルトシリーズの新たなフレーバー『いちごStrawberry in season』のお披露目会が行われました。むつ斗南丘牧場産の生乳と、東通村をはじめとした下北産夏秋いちご果汁を加えた飲むヨーグルトは、自然な風味にこだわり作られたそうです。当製品は、6月8日から発売されています。



東通村特産の夏秋イチゴ使用



特売の様子

マエダ百貨店東通牛特売が行われました

6月4日、マエダ百貨店本店1階特設会場にて、東通牛の特売を実施し、普段は村内でしか買えない東通牛精肉を買い求める人で賑わいました。訪れた方は「以前も購入して、また食べたい」と思い買いにきました」「脂の甘みが最高でした」と話していました。



田植え体験をする児童たち

講師の山崎さん

東通小学校5年生 昔ながらの田植えを体験

6月5日、東通小学校5年生が、目名地区の水田において、昔ながらの田植えに挑戦しました。地域の自然や文化などのテーマを決めて、課題意識を持って取り組む「東通科」のカリキュラムの一環で、5年生は地域の産業について学んでいます。当日は天候にも恵まれ、子供たちは泥に足を取られながらも、一本一本丁寧に、苗を植えました。今年植えたのは「ほっかりん」の苗で、給食にも使われているお馴染みのお米です。無事田植えを終えた子供たちからは「思ったより難しかったけど楽しかった」「自分で植えたお米を早く食べたいです」など楽しい感想が飛び交いました。

講師の山崎孝悦さんからは「前回も素晴らしい出来でしたが、今回は120点です！！」と高得点をいただきました。山崎さんは、秋の稲刈りまで生育を見守ってくださるそうです。

(仮称) 老部地区放射線防護対策施設着工

6月12日、(仮称)老部地区放射線防護対策施設建設工事場所(老部ふるさと館敷地)において、建設工事安全祈願祭が執り行われ、畑中村長をはじめ関係者一同が参列し、工事の安全成就を祈願しました。

放射線防護対策施設は、原子力災害時において、早期の避難が困難な住民等が一時的に退避する施設で、村内には東通中学校(屋内運動場)や診療所、介護老人保健施設などがあります。これらの施設は、高い気密性を確保するとともに、放射性物質を取り除くフィルターや非常用電源設備等を備え、施設内には、ベッドや非常食等の資機材を配備し、避難の準備が整うまでの間、安全に屋内退避を行うことが可能となります。村は、村民の安全の確保のため、今後も原子力防災対策の充実・強化に努めてまいります。



鍬入を行う畑中村長



完成予想図